



重富小学校 学校便り

剣の平

令和7年度 7月号
創立137周年

(重富小HPアドレス)
<http://www12.synapse.ne.jp/sigetomisyo/>

学校
教育
目標

「剣の平」に誓う

光り輝く重富の子

学校キャッチフレーズ

well-beingな学校

成長している子供たち 夏休み 更なる成長する機会に

校長 平 千力

「おはようございます」「今日はいつもより早いね」「うん。みんなで走ってきたから」

ある日の午前7時頃の私と子供たちの会話です。

私が、朝、校門の掃除をしていると、早く来たA君が、黙って自分も葉っぱを拾って、私に持ってきました。すると一緒にいたB君もC君もD君も一斉に葉っぱを拾いはじめました。またたく間に、校門の周りがきれいになりました。

私は、「ありがとう。もう少し待っていてね」と言って、校門を閉めました。

彼らは、私が何も言わないのに、掃除をしている私の姿を見て、自分から進んで、掃除を手伝ってくれたのです。これこそ「自律」だと思いました。



ある昼休み。一人で校庭の隅に立っているEさんがいました。そこにFさんとGさんが寄ってきて、何やら笑顔で話しかけています。その後、3人は仲良く裏山に行って遊び始めました。見ていて、とても温かい気持ちになりました。これこそ「共感」だと思いました。

本校の学校教育目標にもある「自律」と「共感」。日常の小さな場面ですが、少しずつ子供たちに根付いていることを感じています。子供たちは立派に成長しています。

さあ、いよいよ夏休み。

「バケツひゃっぱいの なつやすみ あさひが のぼった そらのいろ
バケツひゃっぱいの なつやすみ ゆうひが しずんだ うみのいろ」

自分が小学生の時、本当に、楽しみでワクワクした気持ちになった夏休み。私は、夏休みに家族で旅行した記憶はありません。奄美大島でしたので、島外に旅行することは当時、大変なことでした。しかし、家の近くの海や山で友達と思いっきり遊んだ記憶は今でも残っています。夕日が沈む時の、オレンジ色の景色、そして友達の声、波の音。50年以上前のことですが、全て、昨日のこのように記憶に残っています。

人は、自分の体験したことが記憶として残り、それが感性となり、言葉になると思います。だから、夏休み、たくさん、いろいろな体験をしてほしいと思います。

そして、人の長所や強みは一人一人違います。夏休みは、個性や好きなこと、得意なこと、夢中になれることを見つけたり伸ばしたりしてほしいと思います。

それが、将来の幸せにつながると思っています。

そんな夏休みになったらいいですね。

御家族の皆様も、お子様と大切な時間をお過ごしください。



「校門 国の登録有形文化財」